

項目	説明	
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	術前化学療法後に根治切除を行った膵癌患者における術前 Prognostic Nutritional Index の臨床的意義
	研究対象者	膵癌と診断された患者さんのうち、2013 年 1 月から 2022 年 12 月の間に神奈川県立がんセンターで術前化学療法後に外科的治療を受けられた方
	研究目的	膵癌の癌関連死因は世界で 7 番目です。膵癌は早期診断が非常に困難のため診断時に切除可能であるものは 15-20%程度です。膵癌は外科的治療のみが根治治療ですが、近年では世界的に術前化学療法 (NAC)、術後補助療法を含めた集学的治療が標準治療となっており、それに加え、近年の手術手技、術後管理の向上などの治療進歩により予後は向上しています。しかしそれでも 5 年生存率は 5%未満と全がんの中でも最も低くなっています。そのため個々の患者に適切な治療戦略を立て、予後を予測するためには、予後予測マーカーの検索は重要な課題と考えられています。近年では、リンパ節や腫瘍径などの臨床病理学的因子だけではなく、CRP/アルブミン比 (CAR)、好中球/リンパ球比 (NLR)、血小板/リンパ球比 (PLR)、modified Glasgow prognostic score (mGPS) などの inflammation-based prognostic score のような患者の栄養状態や免疫状態の研究も増えており、膵癌を含む悪性腫瘍の予後に影響を及ぼすことが知られています。血清アルブミン値と末梢血リンパ球の総数で表した Prognostic Nutritional Index (PNI) もまた栄養状態と免疫状態をともに評価するマーカーとして使用されています。膵癌術後患者において低 PNI で予後不良であるとの報告はいくつかありますが、NAC 患者に絞った報告はほとんどありません。今回われわれは、当院で NAC 後に手術を施行した膵癌患者において、術前 PNI と臨床病理学的因子、手術成績、予後との関連を後方視的に検討を行います。
	研究方法	上記対象患者の臨床データを後方視的に集積し、臨床病理学的因子、周術期因子、予後について後方視的に検討します。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号 (識別コード) で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2023 年 12 月 25 日～西暦 2024 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 []西暦 年 月 日頃 (研究の進捗によって前後いたします)
	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載: _____)、

目（チェック [X]が入った項 目を利用しま す）		<input type="checkbox"/> 尿、 <input type="checkbox"/> 糞便、 <input type="checkbox"/> 唾液、 <input type="checkbox"/> 胸水、 <input type="checkbox"/> 腹水、 <input type="checkbox"/> 脳脊髄液、 <input type="checkbox"/> 毛髪、 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載:_____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[]生年月日、[X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過(予後追跡データを含む)、 <input type="checkbox"/> ゲノムデータ、[X]看護記録、 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載:_____)
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センター研究 責任者	消化器外科（肝胆膵） 河原慎之輔
	共同研究機関および 責任者	なし
	その他の機関	なし
	外国へ提供する場合	非該当
試料・情報の利用停止および情 報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター・消化器外科（肝胆膵）・河原慎之輔・ 045(520)2222 利用停止のお申し出は 2024 年 01 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文など で公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	